平成30年度 サクラサクラ放課後等ディサービスセンター 放課後等ディサービス評価結果

あんしん介護株式会社

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は 格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

放課後等デイサービスは、支援を必要とする障害のある子どもに対して、学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図るものです。

サクラサクラ放課後等ディサービスセンターは平成24年よりこの目的に向けた取り組みを行ってきているところです。

保護者向け評価表の作成にご協力いただきまして誠にありがとうございました。集計が整いましたので結果をご通知申し上げます。

結果を踏まえ事業所の運営改善に役立ててまいります。 今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い 申し上げます。

> 平成30年10月5日 あんしん介護株式会社 代表取締役 千賀 理

保護者様評価結果

環境 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか 16% 51% 33% 2 職員の配置数や専門性は適切であるか 32% 68% 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などパリアフリー化の 100% 配慮が適切になされているか 50% 50% 4 没等デイサービス計画*1が作成されているか 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50%	
# 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の記慮が適切になされているか	
3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課 後等デイサービス計画*1が作成されているか 50% 50% 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか 5 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 5 0% 50% 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている33% 51% 16%	
6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか 16% 51% 33% 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 50% 50% 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況 100% や課題について共通理解ができているか 33% 51% 16%	
6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか 16% 51% 33% 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 50% 50% 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況 100% や課題について共通理解ができているか 33% 51% 16%	
6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか 16% 51% 33% 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 50% 50% 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況 100% や課題について共通理解ができているか 33% 51% 16%	
8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況 100% や課題について共通理解ができているか	
・ や課題について共通理解ができているか	
33% 51% 16%	
3 るか 31% 10%	
保	
保護 10	
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか 100%	
定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体 13 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に 16% 51% 33% 対して発信しているか	
14 個人情報に十分注意しているか 84% 16%	
非 常 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを 32%	
対応 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか 100%	
満 17 子どもは通所を楽しみにしているか 84% 16% 度	
18 事業所の支援に満足しているか 84% 16%	

おおむねの項目でポジティブ評価が過半数を超えています。

問10の父母の会や保護者会の支援につきましては、当施設ではそのような会を組織していませんのでネガティブ評価となりました。

今後ともご利用者様保護者様のご期待に沿えるよう評価の低い項目について改善を行ってまいります。

事業者評価結果

(%)

					/0 <i>/</i>	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切で あるか	75	25		夏休みの繁忙時期は勉強室を設け分散を 図っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 切になされているか	適 100			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	50	50		スタッフ会議を緊密に開催する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート 査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善 につなげているか	凋 75	25		
善善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善 につなげているか			100	第三者委員会を設置していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保 しているか	75	25		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニースや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された アセスメントツールを使用しているか	50	25	25	重心の方とそうでない方がいるため
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50		50	
適切な	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50	50		
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかん 設定して支援しているか	50		50	
供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	∄ 75	25		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行 われる支援の内容や役割分担について確認している か	25	50	25	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日 行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有 しているか		50	50	職員の帰社時間が同じではないので必ず 打合せをすることはできない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	50	25	25	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ 計画の見直しの必要性を判断しているか	^Z 100			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて 支援を行っているか	50	50		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画 しているか	100			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、 子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の 対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている:	100 か			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相 互理解に努めているか	50	25	25	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	;	50	50	市内にこのような施設が無い 鈴鹿市療育センターは1/3まで なので該当者がいない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか		25	75	実施していない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100			管理者が自立支援協議会委員 を務めている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	75	25		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント gレーニング等の支援を行ってい か	る	50	50	ベアレントトレーニングの実施 をしていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	75	25		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50	50		スタッフの知識スキルの向上を 図る
工等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	. 25	25		当施設での父母の会はないが、 外部の父母の会の見学等受入 は積極的に実施している

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発 信しているか	50	50		
	35	個人情報に十分注意しているか	100			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか		50	50	事業所での地域住民へ 向けた行事を開催してい ない
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知 しているか	100			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	100			
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしているか	100			
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等 デイサービス計画に記載しているか		50	50	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか	100			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ているか	75		25	